

# 令和4年度 東京都立砂川高等学校学校経営報告（通信制課程）

東京都立砂川高等学校  
校長 南 斉 道 雄

本校通信制課程は学習意欲のある生徒に、実り多い高校教育の機会を広く提供する「セーフティネットスクール」として、様々な生徒のニーズと都民の期待に応える学校を目指している。社会の変化に伴い通信制に学ぶ生徒たちの姿は変化しつつある。もはや、通信制は勤労青少年のためだけの学校ではなく、多様なニーズをもつ多様な生徒たちのための学校として、教育の内容や質の転換、改革が求められている。

また、単位制通信制課程の機能を十分に発揮し、生徒の添削指導を中心に自学自習を支援し、教育機会の充実を図る学校として、「誰でも学べる学校」「いつでも学べる学校」「どこでも学べる学校」をモットーに、「学び」とのつながり、「人」とのつながり、「世の中」とのつながりの「3つのつながり」を基本的コンセプトとして、以下に示した教育活動を展開していく。令和4年度学校経営計画に記した今年度の重点目標と数値目標について、その達成度を以下に示す。

## 1 今年度の重点目標

【教務部】		
	内 容	評価
重点目標	1 新旧両課程の併行運用を滞りなく進める。 2 一人1台端末整備を行い学習面での使用を促進する。 3 T e a m s による生徒との連絡体制および学習情報の提供を定着させる。 4 感染症対策に万全を期し、年間行事計画・授業計画等の見直しを随時必要に応じて行い、メディア活用のいっそうの定着・拡充を図る。	
具体策	1 新旧両課程の生徒が受講する新課程科目においては、科目により受講生の層(新旧生徒の割合)に大きな隔たりがあるものと考えられ、課題提出の方法や観点別評価の記録等に際し、新旧両課程に柔軟に対応していけるよう体制を整える。 2 学習活動において一人1台端末を活用する場を確保する。(一人1台端末購入対象者でない生徒への端末貸出や、個人所有スマートフォンによる取り組み等も視野に入れる。) 3 T e a m s 投稿に対するリアクション指導の徹底や、F o r m s による課題提出を定着させる。 4 感染症対策として、さまざまな取り組みを行う。 例) 郵送による出願受付、メディア利用による面接指導(スクーリング)代替、定期考査の弾力的運用、オンラインスクーリングの定期的実施	
数値目標	1 新課程科目および観点別評価についての校内研修「5回以上」 2 一人1台端末購入生徒における端末使用実績「購入生徒の7割以上」 3 新課程通年科目での中間課題提出方法におけるF o r m s 回答導入率「7割以上の科目」 4 感染症対策としての取り組み「随時」	◎ 7回 ◎ 7割(62/87) ◎ 8割(5/6) ◎ メディア利用代替(2955時間)
【生活指導部】		
	内 容	評価
重点目標	1 特別活動の充実 2 学校や社会のルールを守る指導の徹底 3 教育相談体制の充実 4 福祉的サポート体制の充実 5 生徒が主体となる活動のサポート体制充実	

具 体 策	<p>1 「アクティブプラン to2020」に基づき、学校行事の参加を促し、生徒の自主的・実践的な態度を育成が可能となる内容とする。</p> <p>2 全校集会、SHR、生活指導部ニュース等で学校生活のルールを周知させ、安心・安全な学習環境を自ら守る意識を生徒全員に育成する。</p> <p>3 担任、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー、外部組織等で連携して多様な生徒の課題に対応する。課題の共有のために校内研修を実施する。</p> <p>4 託児室の安全安定的な運営と、ユースソーシャルワーカーや外部組織との連携により、生徒が抱える福祉的課題に取り組む。</p> <p>5 定時制文化祭への参加や部活動等を通して、生徒の自主的・主体的活動をサポートする。</p>	
数 値 目 標	1 健康診断受診率 60%以上	○65%
	2 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数 のべ80人以上	×40名
	3 教育相談についての校内研修 1回以上	◎1回
<b>【進路指導部】</b>		
	内容	評価
重 点 目 標	<p>1 通信制のキャリア教育の充実</p> <p>2 生徒一人一人への支援と自立意識の啓発</p> <p>3 高大・高専連携の推進</p>	
具 体 策	<p>1 進路希望調査、進路別模擬講義・体験授業、就職説明会、進学説明会、大学入学共通テスト説明会、高大・高専連携など進路行事を体系的に構築し、効果的な指導を実現するとともに、具体的な進路選択、決定に役立つ情報を進路NEWSや月報などで発信しながら、個別の相談活動を行い、担任の進路指導業務と連携しつつ、生徒のキャリア実現を図る。</p> <p>2 進路希望調査結果を生徒の個別指導に活かすと同時に、就職説明会・進学説明会・大学共通テスト説明会の内容をより生徒のニーズにあったものに充実させていきながら、ホームルーム指導の支援となるべく、進路NEWSを発行しつつ、ハローワーク立川などとの連携により、生徒の進路指針のための講演・講習会を実施する。</p> <p>3 専門学校の高校生向け授業公開情報の提供、体験授業などへ積極的に参加を促す取り組みを、進路NEWS、月報などにより推進する。大学・短期大学の公開授業、説明会への参加を、担任を通じて呼びかけ、その参加を促す。</p>	
数 値 目 標	1 進学・就職説明会など参加者、延べ100名以上	◎117名
	2 卒業生の進路決定率、55%	×49.6%
<b>【総務部】</b>		
	内容	評価
重 点 目 標	<p>1 月報「砂川通信」とTeamsを活用しての情報発信</p> <p>2 学校説明会の実施</p> <p>3 学校要覧・学校案内の作成、ホームページの随時更新</p> <p>4 総務部としての仕事の組織化</p>	
具 体 策	<p>1 月報「砂川通信」により生徒の学習や進路等に必要な情報を必要な時期にあわせて提供する。Teamsによりスクーリング当日に必要な情報を精選して提供する。</p> <p>2 学校説明会で通信制の学習を理解してもらうことにより、入学後の学習への円滑な移行を図る。</p> <p>3 通信制課程への理解を深める適切な学校案内を作成し、募集に資する。在校生もこまめに確認したくなるようなホームページを目指すよう検討する。</p>	

	4 総務部作成文書を電子データとしてネットワーク上に保管し、職員共有と次年度へのスムーズな業務の移行を図る。	
数 値 目 標	1 月報の配布回数年間10回	○10回
	2 ホームページの更新回数年間50回	○52回
	3 校外（中学校など）での学校説明会実施年間5回	○6回
	4 学校説明会の参加者数300名	△名
	5 生徒による授業評価年間2回実施	○2回
	6 生徒の学校満足度90%	◎ 92.3%

#### IV 今年度の数値目標

評価項目	目標値	結果	昨年度実績
1 レポート提出率の向上	レポート提出率60%	58.9%	61.0%
2 スクーリング出席率の向上	70%	60.9%	64.4%
3 単位修得率の向上	全体60%	46.9%	48.4%
4 教員の時間外業務	月平均10時間以内	平均15.0時間	平均15.0時間
5 教員の年休取得日数	平均15日以上	平均16日以上	平均16.0日
6 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数	80名	40名	22名
7 学校説明会の参加者数	360名	355名	296名
8 ホームページの更新回数	年間70回	52回	55回
9 卒業生の進路決定率（継続含）	55%	49.6%	52.5%
10 生徒の授業満足度	90%	98.0%	92.7%
11 生徒の学校満足度	90%	92.3%	96.9%